

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号 5809 学校名 飛騨高山高等学校（定時制）

社会的役割等 (スクール・ミッション) 生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制高校として個別支援に重点を置いたきめ細かな教育活動を通して社会において自走できる人材の育成を目指す学校

学校教育目標 (教育方針) 【教育方針】「快活」「友愛」「創造」の校訓のもと、あらゆる機会を通して『自走力』を鍛え、価値観の多様性と互いに尊重できる『高い共感力』を備えた人材を育成する。
【教育目標】①自らキャリアデザインを描き、主体的に行動できる力を養う。
②自他の考えを尊重し、適切な人間関係を構築できる力を養う。

3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため周囲と協働できる生徒 互いの人格を尊重し、意見を交流しながら、自らの役割と責任感を果たせる生徒 郷土を愛し、地域の発展のために、地域や社会の構成員として貢献できる生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 I C Tを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 生徒の個性や長所、自己肯定感を伸長するためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 過去にとらわれず、再挑戦する意思をもち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲をもつ生徒 自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 生徒会活動や学校行事などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や人間関係を築いていく意欲のある生徒

学校の抱える課題

- 様々な背景がある生徒や、様々な学びのニーズのある生徒に応じていくことが期待されている。
- 生徒の多様性と社会の変化に応じた定時制課程での学びのあり方を検証していく必要がある。

教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	◇基礎基本を大切に、社会人として必要な一般教養を身に付けさせます。	◇主体的な学びへとつながる「分かる授業」を推進するとともに、個に応じた支援を充実させます。
	生徒指導	◇あらゆる学習活動及び特別活動を通して、生徒の主体性を育み、自己肯定感を高めるように努めます。	◇自他の人格と生命を尊重し、健全な人間関係を築かせるとともに、社会性の育成に努めます。
	進路指導	◇望ましい勤労観・職業観を身に付けさせて、社会的自立を促します。	◇能力・適正及び多様な可能性を理解させて、卒業後の進路実現を目指します。
	学校経営	◇多様な生徒の学びと自立を支える場となるよう、継続的に教育活動の見直しを行います。	◇教職員が心身ともに健康で、それぞれの能力を発揮できるような職場環境づくりを推進します。

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学習指導	① 毎時間、生徒が分かりやすい授業プリントや、ICT機器を活用することで視覚に訴える教材を用い、「分かった」「できた」「もっと学びたい」を実感できる授業づくりに努めます。	施策Ⅱ-9	① 生徒及び保護者を対象とするアンケート ② 生徒による授業評価アンケート ③ 定期考査ごとの各科目の平均点及び得点分布				
	② 互いに共感した対話を大切にしながら主体的な学びを推進するとともに、授業規律の確立に努めます。	施策Ⅱ-8					
	③ 習熟度別分割授業やティームティーチングを取り入れ、特別支援教育支援員とも連携して、個別の支援を重視した授業実践に努めます。	施策Ⅳ-23					
生徒指導	① スクール相談員やSC・SSWと連携し、一人一人に応じた支援を手厚く行うことで、生徒の自走力や自己肯定感を高めます。	施策Ⅰ-1	① 生徒及び保護者を対象とするアンケート ② 学校行事・生徒会活動の振り返り・部活動加入者数及び活動状況・大会成績 ③ いじめ実態調査等による状況観察				
	② 全職員による多面的な生徒理解に努め、個性を尊重するとともに、各種講話や授業を通じて規範意識の向上を促します。	施策Ⅰ-1					
	③ 学校行事・部活動・生徒会活動の活性化を図り、生徒が主体的に活動できる場の提供に努めます。	施策Ⅰ-5					
	④ すべての教師があらゆる機会から生徒一人一人を理解し、生徒の日常の僅かな変化を捉え、積極的な教育相談に努めるとともに、いじめの早期発見・早期対応につなげます。	施策Ⅰ-3					
進路指導	① 進路希望を叶えるための一人一人に応じた基礎学力定着の個別支援を充実させます。	施策Ⅱ-8	① 生徒及び保護者を対象とするアンケート・各種講話の振り返り ② 進路希望調査、就労調査 ③ 進路先決定状況				
	② 発達段階に応じて外部講師や地域人材を活用した進路ガイダンスを実施するとともに、関係機関と連携して在学中の就労を支援します。	施策Ⅱ-13					
	③ 育友会や教育振興会と連携を図り、職場訪問・インターンシップ等を通じて就労の意義を理解させ、社会的自立を促します。	施策Ⅱ-13					
	④ 三者懇談や個別面談等を通じて自己の能力・適性や可能性を確認するとともに、適時に進路情報を提供します。	施策Ⅱ-13					
学校経営	① 定時制の特色ある教育活動や制度に対する地域の理解を得て教育活動を推進できるよう広報活動を行います。	施策Ⅳ-20	① ホームページ等の掲載頻度 ② 学校内外での研修の受講と報告、会議での情報交流 ③ 勤次郎の打刻状況、年休等取得率、各種調査結果の内容				
	② 課程の特色を生かした学びの場となるよう、行事やカリキュラムの見直しを継続的に進めます。	施策Ⅳ-23					
	③ 校内外研修の受講を促すとともに、学び合いの機会を設け、教職員の資質向上を目指します。	施策Ⅳ-26					
	④ 働きやすい職場環境づくりに向けて適切な労務管理を行うとともに相談しやすい環境づくりに努めます。	施策Ⅳ-27					

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--